

平成23年2月に結成された串間スポーツクラブ（金川敏洋代表、43人）。そのクラブの子どもたちが今回、キッズサッカーの大会で優勝しました。

記念の賞状と盾を持って記念撮影



串間スポーツクラブ

キッズサッカーで栄冠を獲得

串間スポーツクラブの子どもたちが、チーム結成以来初となる優勝を手にしました。

優勝した大会は、2月にえびの市で開催されたコカ・コーラカップ宮日キッズサッカー大会2012。今年で第8回を迎えたこの大会のビギナーズクラスで、

予選を突破し優勝の栄冠を手にしました。

チームを結成したばかりの昨年、初めて挑戦したこの大会で準優勝になったスポーツクラブの子どもたち。その後一年間、週1回という限られた練習時間の中で、みんな一生懸命練習に取り組みました。その甲斐あって、優勝を目標に掲げた今年は見事、その目標を達成したのです。

今回参加したビギナーズクラスは初心者を中心としたコース。来年からは経験者が競い合うオープンクラスでの優勝を目指します。

試合に参加した福島地区・南今町の井上紘くん（6歳）は「去年参加したときより今年はずっと上手になりました。自分の目標だった相手のシュートを止めることもできたのでよかったです。初優勝はとってもうれしかったです。来年も優勝したいです」と大会の感想を話してくれました。

Health Knowledge 健康マメちしき

市民の皆さまへのお願い

串間市民の皆さま、こんにちは。市民病院内科の中西です。

一昨年から医局長もさせて頂いています。早いもので、鹿児島大学の医局から串間に派遣されて、今年が5年目になります。最近では街で買い物をしたり、居酒屋で飲んだりしていると、患者さまやそのご家族から声をかけられるようになってきました。よつや／串間のお医者さん」として顔を覚えて頂けたのかなと、少しうれしく思っています。

さて、今回は医療知識とどうよりは串間市民の皆さまにいくつか提言したいことがあり、筆をとりました。

まず一つは、健康への意識についてです。個人ではわれわれも驚くほど健康について非常に高い関心を持っている方も少なからずいらっしゃいます。しかし、健診の受診率などをみると、市民の皆さまの健康への意識はまだまだ低いと言わざるを得ません。まだ働きざかりの40〜50代の人が、自覚症状がないからと高血圧症や糖尿病を放置していたばかりに、突然脳出血や心筋梗塞を起こして救急車で搬送される。この4年間そんな光景を数多く見てきました。いくら医学が発達したとはいえ、万能ではありません。救えない命も当然あるのです。ですからぜひ

皆さま健診を受けてください。一人ひとりがしっかりと気を付けて、それにわれわれ医療従事者が力を貸す、それが望ましい形だと思えます。及ばずながら、われわれ医師も地域医療座談会と称して2カ月に1回、皆さまの住む地域に伺って講演をすることも始めています。当院の栄養科のスタッフを中心に月2回院内で生活習慣病講座というものも行っています。興味のある方はぜひ活用ください。

また、個人レベルではなく市全体としての取り組みも必要だと思います。特に串間の飲食店にお願いしたいことがあります。わたし自身いつもお世話になっていられるお店も多く言いつらいますが、分煙・禁煙をもっと積極的に進めるべきだと思います。禁煙なんかにしたらお客さんが来なくなる、という心配も分かります。しかし受動喫煙のリスクはずっと以前から指摘されていますし、全国的に分煙・禁煙が当然になっている流れの中、これでは串間は健康への意識が低い、非常に遅れている、と言われても仕方ありません。市としても積極的に働きかけて頂きたいと思えます。また愛煙家の方も、禁煙じゃないから吸う、のではなく常に周囲の方への気配りをして頂きたいと思えます。今は禁煙を補助する内服薬もあり、当院で禁煙外来も行っていきます。ぜひこの機会に禁煙を考えてみてください。

最後に接遇に関して一言申し上げておきたいことがあります。われわれ医療従事者は市民の皆さまの病気を治すために働いていますが、医療行為に関してはご希望通りに行える訳ではありません。専門外であれば他の医療機関をおすすめすることもあります。また、検査などあれこれ要求する方が時にいらつしやいますが、医学的に不要と判断された場合はもちろん、休日や夜間などは、命に関わるような緊急時を除いて通常と同じような業務はできませんので、そこはご了承頂きたいと思えます。時には自分の思い通りにならないことに不満を感じ、医療スタッフ（医師・看護師・薬剤師・放射線技師・検査技師・栄養士・運動療法士）に心ない言葉を浴びせる方もいらつしやいますが、そこは誠に厳に慎んで頂きたいと思えます。

われわれ医療スタッフも皆さま方と同じ人間です。疲れているとき、心ならずも不機嫌な対応になってしまつこともあります。理不尽な非難・批判にさらされれば恐怖を感じたり、反発したりもします。医療側と患者側、ではなくまず人と人としてお互い相手を尊重すること、そういう当たり前の人間関係を構築することが医療の基本かつ理想だと思います。今後とも皆さまのご理解、ご協力を宜しくお願いいたします。

著：串間市民病院 内科 医師 中西 千尋

chihiro Nakanishi

市役所の代表電話 ☎0987-72-1111

お知らせ

合併処理浄化槽への補助制度があります

- 対象地域＝公共下水道認可地域、農業・漁業集落排水事業地域を除いた市内全地域
- 対象人数＝10人槽以下の合併処理浄化槽
- ※店舗兼住宅などについては延べ床面積の2分の1以上が居住スペースでなければ補助対象にはなりません。
- 補助金額

- ①新築または汲取りからの改造
- ②単独処理浄化槽からの改造
- ・5人槽＝①332,000円、②432,000円
- ・6人槽～7人槽＝①414,000円、②514,000円
- ・8人槽～10人槽＝①548,000円、②648,000円
- ※補助予算額には限りがあります。先着順となりますので、お早めの申請をお願いします。事前に浄化槽設置者講習会の受講をお願いします。合併浄化槽の補助金申請には受講済証が必要となります。受講済証の有効期限は1年です。

- 場所＝串間エコクリーンセンター
- 日程＝4月5日（木）、6月7日（木）、8月2日（木）、10月4日（木）、12月6日（木）、平成25年2月7日（木）
- 時間＝午後1時30分～午後2時受付、午後2時～午後3時講習
- ※浄化槽の設置後は、有効な機能を守り、汚水を適正に浄化するために、保守点検、清掃などの維持管理が義務付けられています。
- 問い合わせ先＝市民生活課 環境保全係 ☎内線254